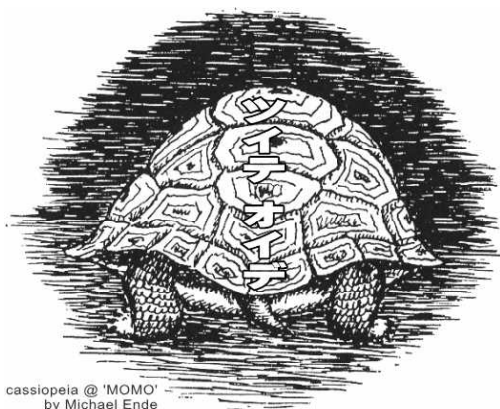


ラブレターを書く

自 2021 年 4 月 10 日
主に小学 4 年生に向けて

至 2024 年 3 月 25 日
主に小学 6 年生に向けて

毎月 2 回（10 日と 25 日）
ハガキに記した。全 72 回



ミヒヤエル・エンデ『モモ』より

こんにちは。はじめまして。国語辞典をつかいながら、いろんな勉強をしましょう。もの知りになれるし、そしてなりよりも、ふしぎに思うことを自分でわかるようになる力がつきます。



さて、「目(め)」をひいてみよう。

目をつかうことがとても多く、ほかのページとちがうことがわかるでしょう。

①目に入れても痛(いた)くない ②目を白黒させる

③目を光らせる

①②③をさがそう。



◆少しむずかしいこと

「目をとじる」ことは「つ

ぶる」ですか？

「つむる」かな？

「目をつぶる」の

意味を考えてみよう。

辞典の意味が

わかりにくいとき

こそ、おとなに聞

こう。ねるときは

目をとじるけれ

ど、そのほかにも

使い方があるよ。

「ラブレターを書く」



って、なんでなん？

大切なことを、ことば

をつかって伝えられるよ

うになってほしいと思っ

たのです。

20秒でひける

辞典は、見出しをみつけながら使います。その「見出し」は20秒でひけるのです。すぐにはムリかもしれないけれど、ひけるようになります。

わずか20秒だから、だれかにたずねるよりも早いですよね。——そのためには、辞典は、手をのぼしたらすぐにつかめるよう、使いやすい所においておくことです。

こんにちは。18日の日曜日、入れるようになった海辺（うみべ）に行ったけれど、寒かったあ！



2回目は「手(て)」を調べよう。目をつかうことばは多かったけれど、手も多い。犬、ねこ、ゾウ、ライオンは4つの足で歩きますが、人間は2本の足で歩くので、手は別なことに使えます。握手（あくしゅ）して「あいさつ」します。ハサ

ミやほうちょうなど道具を使います。教室で「ハイツ！」と手をあげます。穴を掘ります。「だーれだ」と人のうしろから目かく

しできます。つめたい手、温かい手。じゃんけんもできます。手の使い方はほかにももっとあります。人間は2本の足で歩けるようになり、ほかの動物とちがって、たくさんんのことを考え、いろんなこ

「手」が「目」の代わりをする

とができるようになったことがわかります。脳（のう）は大事なところですが、**目や手は脳と同じだ**け大切なところですね。

目が不自由な人は点字を読みます。点字は6つの点でできています。「あいうえお」の文字は、点字にも同じものがあります。目で見てわかるのは脳の中に、目だけの特別な部分があるからです。目のはたらきをうけて持っている脳の部分で、点字が読めるのです。目で読むのと同じで、点字をすらすらと読めるのです。手が目の代わりになるのです。でも、病気などで中途（ちゅううと）失明（しつめい）した人は点字を読むのに苦労するようです。

こんにちは。人の悪口は言わないの！

お口にチャック！

まだ食べてはいけません！ 手は、うしろ！



右、左、どちらかの手を上にあげま

す。その手で、目をさわります。次に鼻を、次に口を、そして耳をつかみます。

最後はその手をふたたび上にあげ、手をひろげてパーにします。目鼻口耳手の5つは五感を表しま

す。



口は味わう舌（した）

のこと。手はさわって感じることで、ふれて感じられるからだ全体のこと。五感の5つはこのようにすることで、おぼえやすくなります。



五感とは「感じた」とです。から、感じたことを言葉で表そう。

① おりがみを用意して一枚取り出します。「何色ですか？」ときかれたら目で確かめますね。このときは「赤」だったこと

にしましょう。

② では、目をつぶりましょう。「赤・黄・青・緑」これらの集まりを何と言いますか？ 目をつぶったままで答えられますね。「色！」と。そうなんです。「色」は目で見なくても答えられます。でも、これは何色ときかれると、目をあけて確かめないと答えられないですね。

「赤・黄・青・緑」という言葉は、目で使う言葉。でも「赤・黄・青・緑」の集まりは、目ではなく、頭で考える言葉ということになります。

こんにちは。勝つの反対語は？「負ける」。では、負けるの反対語は？「勝つ」。それじゃあ、おもしろくないよ。「負けたくない！」。負けないと勝つは同じだろうか？



ファイギュアスケートの羽生結弦（はにゅう・ゆずる）選手は、勝ちたいと思っているでしょうか。私は、「負けたくない」と思っているのではないかな？

して、ほかの選手（せんしゅ）に、ではなく、「自分に負けたくない」のだと思います。



「こころ」を辞典でひいてみよう。

「こころ」は「心」と漢字で書けるでしょうが、心をつかう言葉って、たくさんありますね。ここで3つ、おぼえよう。

心が通（かよ）う。あなたは「心が通う」友達がいいますか？ なかのよい友達のことですね。

心を鬼（おに）にする。良いことをするために鬼になることだよ。

心を寄（よ）せる。これは、ちよつとむずかしい。「虫に心を寄せる」これはまちがいの。「だいすきなカレーに心を寄せる」これもまちがいの。虫やカレーには、つかえませぬ。人にだけつかえます。すきな人って、いますか？ おかあさんやおとうさんにはつかえますが、でも、あまりつかわないなあ。とっておきの人にかうことが多いかな？ だれになるかな？ たまにはむずかしいことを考えよう。

お花がわらった
いちどにわらった
みんなわらった

こんにちは。

花の輪（わ）でれ
んそうしてしまった
のだけど、《まる》
と《わ》と《えん》
どれもまるい。「ま
る丸」「わ輪」「え
ん円」。これらはど
うちがうのかな？
辞典で調べると、**円**
はコンパスで書ける
ようなまる。**丸**は円
と同じようだけど
《丸い心》がある。
《**円い心**》っておか

しいよね。
でも、へ円
い心」と書

いてもまちがいではない
らしい。**輪**は「輪になっ
て遊ぼう」と言うように
丸くなることだけど、ゆ
がんでいてもいい、だい
たいでよい。花が輪にな
ってわらっているといっ
ても、かこまれている感
じはしても、ガタガタの
まるかもしれない。



花輪つまり首かざりを
ぶらさげると気持ちいい
かなあ？ レンゲやクロ
ーバーで花輪をつくって、

だれかさんにあげたい？
プレゼントをもらうと
うれしくなります。**和み**
ます。おなじ「わ輪」だ
けど、《和》をつかって《和
む》と書くと《なごむ》
と読みます。むずかしい
読み方で、小学校ではた
ぶん習わないと思う。読
めないおとなも多くいる
でしょう。

《まるい》を表すだけ
でも《丸・輪・円》があ
ってどれをつかってもし
い、というわけにはいき
ません。《なごむ》はひら
かなで書いてもよいけれ
ど、和はむずかしい漢字
ではないから、**和む**をつ
かってみたら……。

こんにちは。

待っていたゲームや、好きで読んでいる本の続きが手に入ったら、うれしい。だれも持っていないゲームや、まさらの本だったら、**もっとうれしい**。

むねがキュンとしたり、どきどきしたことはありますか？
「**もっとうれしい**」を「**ときめく**」と言います。「心が**ときめく**」のようになります。

♡
心って、どこにあるのだろう。キュン

としたりどきどきするのは心臓しんぞうのあたりですよ。心は心臓にあると思う人！ シーン……。

おとなは、心は脳のうにあると思っている人が多いけれど、そうだろうか？
国語辞典で「心」をしらべても、たぶん「脳の働はたらき」と書いていないでしょう。からだ全体に血を送っているのは心臓だけど、脳は心を、どこかに送っているのだろうか？

すぐく緊張きんちようしたら、ほっぺがあつくなったり赤くなったり、手があつくなったりします。「心が**ときめく**」ときは、

やっぱり心臓に心があるような気がします。



あなたが科学者になったら、心は脳の働きと言いかもしれません。考えごとをするとき、頭に手をやるのは、心のせいでしょうか。

ヒント！ 心臓から送り出される血は、脳がいちばんたくさんもらいます。脳にとどいた血は、からだじゅうをまわり、心臓にもどります。うれしい心、**ときめいた**心は血によって全身に運ばれます。**ときめき**がいっぱい起きるように、血をいっぱい脳に送ろう！

遊びに挑戦！
 こんにちは。言葉



あいすはとける。
 とけるとぬれる。ぬ
 れるはひとみ。ひと
 みはひかる。ひかる
 ときえる。きえるは
 けむり。けむりがみ
 ちる。みちるはうみ
 べ。うみべはなぎさ。
 なぎさにふれる。ふ
 れるはさわる。さわ
 るとまるい。まるい
 ところぶ。ころぶと
 つづく。つづくはあ
 した。あしたもあつ
 い。あついとほしい。
 ほしいはあいす。



のぼるとあそぶ。あそ
 ぶとゆかい。ゆかいはま
 んが。まんがはつづく。
 つづくとながい。ながい
 ときれる。きれるとなく
 す。なくすといやや。い
 ややはがまん。がまんは
 つらい。つらいとたべる。
 たべるとこえる。こえる
 はふとる。ふとるとおも
 い。おもいはすもう。す
 もうははだか。はだかは
 ややこ。ややこはまるい。
 まるいははねる。はねる
 はこねこ。こねこになま
 え。なまえはのぼる。
 「ややこ」は、あかちや
 んのこと。



みなとはこうべ。こう
 べはとなり。となりはす
 わる。すわるとらくだ。
 らくだのせなか。せなか
 はふたつ。ふたつをわけ
 る。わかるはケーキ。ケ
 ーキのかたち。かたちは
 おふね。おふねはみなと。
 言葉を違う意味に変え
 てつなぎます。3文字に
 こだわること、きたえ
 られる。ω+ωの7文字
 のリズムがいい。
 おわりはなごや。なご
 やはどこや。どこやはこ
 こよ。ここよはあしや。
 あしやはここら。ここら
 でおわり。



こんにちは。

目は口ほどに物を言う。

1年生をたまにかわいいと思うのが4年生。大きなおねえちゃん、おにいちゃんと思うのが1年生。これが、4年生と1年生の違い。じっと見つめてくるのが1年生。相手の目をじっと見たりしないのが4年生。まつげの長いのが1年生。まつげがいつのまにか長くなくなってしまうのが4年生。まだ長い子

もいるかな？

目は口ほどに物を言う。

目はしゃべらないけれど、口で言われるより知らまれるほうがコワイときがある。目に涙（なみだ）をうかべていたら、どうしたのかな？と思う。月曜日の朝、ねむそうにしていたら、遊びすぎたのかなと思ってしまう。目って大事なんだ。



首をかしげる。

髪（かみ）をさわる。

腕（うで）を組む。

背（せ）を向ける。

舌（した）を出す。

くちびるをかむ。

ウインクする。

口ほどに物を言うところは多い。

子どもどうしでは握手（あくしゅ）をしないでろうけれど、手をあげて喜ぶことはするね。

言葉で言うより、つまり**口で言うより、態度で表現することのほうが、**じつは多いらしい。

きょうは何を着ようかな？ 長い髪にしたいなあ、と思うことも表現だ。スポーツで強くなりたい、わぎをマスターしたいと思ふことも表現だね。

口はわざわいのもとにならないう、表現について考えてみよう。

こんにちは。

あせ汗をかく。

どばっと汗が出る。たらたら出る。にじみ出る。毎日、暑いですね。汗が口に入ると塩の味。熱中症（ねっちゅうしょう）にならないよう塩分を補給（ほきゅう）しよう。暑いとどうして汗をかくのだろう。汗をかくことで体をひやすのですね。犬は汗をかきません。人間の汗のように汗を出す腺（汗腺かんせん）

がないからです。それで、舌（した）を出してハアハアと体温を下げているのですね。

冷や汗（ひやあせ）をかく。辞典をひくと「おそれいたり、こわかったりしたときに出る、**つめたく感じるあせ**」とあります。さて、ほんとうに冷たいのでしょうか？ あなたは、冷や汗をかいたことがありますか。

汗の結晶。 スポーツの成果や、苦勞して作り上げた作品をほめるときにつかう言葉です。

汗を流す。 シャワーをあびてその言葉通り汗を

流すこともあれば、友達や人のために自分も努力しようと思うときの言い方にもなります。

あぶら汗。 **手に汗にぎ**る。どちらもよく似ていますが、あぶら汗は、手ではなく額（ひたい）にかく汗。とても緊張（きんじょう）（きんちょう）したときに体験する汗。手に汗にぎるときも緊張しているときですが、良いことを期待していることが多いですね。

汗は自分の体から出るものですが、人のために汗をかくのもあるのですね。



こんにちは。

前回は毎日アツイから汗を話題にしたのに、最近は雨ばかり。それで、雨をネタにしようと思うが、思いつかない！「ネタ」を国語辞典で調べると「話や料理の材料」とある。ネタは「タネ」をさかさにしたということらしい。へえーそんなこと、あるんだあ。

タネとネタ

手品（てじな）の種（たね）明かしはおもしろい。ネタあ

かしとは言わない。「ネタばれ」というのは、ドラマや映画（えいが）の大事なところをばらすこと。ぎょうぎの皮（かわ）

で包まれているのは「ぎょうぎのネタ」。でも、「ぎょうぎのタネ」という人もいるかもしれない。わかれるなあ。

花の種をまくことは「タネまき」（ネタまき）とは言わないなあ。

新聞記者はニュースになるようなネタはないかなあと思いつながら仕事をしている。そして、すごいニュースを報道（ほうどう）したときは、それを「特ダネ」と言う。あ

れっ？ ネタをさがしていて大きなネタになったら特ダネになるんだあ。

タネがさかさになってネタになったり、人によってつかいかたが同じでなかつたりすることを「言葉のゆれ」と言います。

お好み焼きをするときにつかうコテ。テコかな？ヘラのようなあれよ！これは厳密（げんみつ）には言葉のゆれではないけれど、相手に通じればそれでよい。言葉はつかわれる関係や地方によって、いつも同じではありませぬ。だから、「正しい言葉づかい」という言い方は正しくないのです。

こんにちは。

目が不自由な人を
視覚障害者（しかく
しょうがいしゃ）と
いいます。「盲人（も
うじん）」と視覚障
害者に言ったら「視
覚障害者と言ってく
ださい」と注意され
たことがあります。
視覚障害者が点字
を読んでいるのを実
際（じっさい）に見
ました。厚（あつ）
い紙に盛（も）り上
がった六つの点があ
り、それが一つの文
字になります。その
点のならばをすこい
速さで、手でふれて

いきます。「えっ！もう
読めたのですか？」と聞
いてしまいました。点字
を一つ一つ確（たし）か
めるのでなく、頭の髪（か
み）をなでるように、さ
つとなでるのです。



このハガキが読めるあ
なたのように、晴眼者（せい
いがんしゃ）目が見える
人をそう呼（よ）びます。《
は、見たことを脳（のう）
に伝えます。役目ごとに
脳の部分に名前がつけら
れています。目で見たこ
とは「視覚野（しかくや）」
というところで、わかる
ようになります。
さて、ここからがおど

ろきです。視覚障害者が
手でさわると、その感覚
は視覚野で読まれるので
す。まさに「**手で読む**」
のです。晴眼者は手で読
むことはできません。こ
のことを知ったとき、晴
眼者には無い才能（さい
のう）があると思いまし
た。視覚障害者には「手
で読む」という**すぐれた
才能**があると気づかされ
ました。

「見える」

を考

えるとき、あなたもわた
しも同じものが見えてい
ると、あたりまえのよう
に思います。果たして実
際そうなのでしようか？

こんにちは。

前回の続きから。

視覚障害者（しかくしょうがいしゃ）は「**手で読む**」のです。が、ところが、視覚障害者のみんなが「手で読む」のではありません。病気や事故（じこ）で失明（しつめい）した人（＝中途（ちゆうと）失明（しつめい）といいます）の多くは手で読めないのです。点字が読めない。わたしが出会った視覚障害者は「中途失明の人が気の毒（どく）だ」と

話していました。わたしは勉強してわかったことは、中学生くらいまでは「手で読む」ことはできるようなになるけれど、おとなになってからは、むずかしいようです。



「見える」をもう少し考えましょう。

虹（にじ）で見える色は七つと言われます。でも、ドイツは五つだそうです。国によって違うのです。虹が出たら色の区別がどれだけできるか、かぞえてみよう。

もうすぐ紅葉（こうよう）の季節（きせう）がやってきま

す。もみじ（カエデ）の木で葉は赤くなりますが、でも、同じ赤ではありませんね。もみじの木で、赤色のいろいろを集めてみてください。



最後に少しむずかしいことを。じつは、わたしもむずかしいこと。それは、あなたが見えている「赤」と、わたしが見えている「赤」は、もしかしたら同じ赤ではないかもしれないかもしれない。黒と黒に近い紺（こん）を見分けるとき、わかりにくかったり、見え方が違うこと、ありませんか。

こんにちは。

あなたは、ご両親をどう呼びますか？
ママ／パパ派(は)？
おかあさん／おとうさん派？ このどちらでもないですか？
もしかして、名前で呼ぶとか？

では、先生などおとなに対して自分の親をどのように紹介(しょうかい)していますか？

「私(わたし)の母です」「ぼくの父です」でしょうか？

「私の母親です」「ぼくの父親です」

でしょうか？

「私のおかあさん」「ぼくのおとうさん」でしょうか？

そんな会話をすることは、まだ少ないかな？

しかし、これからは、ご両親を紹介する機会がふえます。それが、おとなになるということです。



では次に――

《自分》をどのように表現していますか？

わたし／ぼく、かな？
男の子は「おれ」が多いようですね。

小学生になる前は、自分の名前をそのまま呼ぶ

ことがふつうだったのに、そのことをやめたのはいつのころからだったのでしょうか。

《自分》表現のしかたは、おとなになっても変わらない(変えない)おとなは多くいます。

言葉は相手があつてつかう役に立つものです。つまり、相手があなたの言葉をきいています。

小学生のときは、まだ早いと思うかもしれませんが、でも、小学生で活躍するアスリートがいるように、おとなになるころが、まえをそろそろ始めてもよいかもしれません。

こんにちは。

いつまで暑かったのか？おぼえていますか。少しぐらいの運動では汗(あせ)をかかなくなりました。

山が紅葉で赤くなるのは、もう少し先です。わたしたちの地方では、きれいな真っ赤(まっか)になるのは意外とおそく、11月20日を過ぎても12月の初めです。冬を感じられるころになって山は赤くなります。

その前にイチョウが黄色くなります。

これを黄葉と言いますが、さて「黄葉」を何と読めばよいのでしょうか。「こよう」でもよいし「もみじ」でもかまいません。モミジが赤くなる「紅葉」も「こよう」でもよいし「もみじ」でもかまいません。



でも、「もみじ」と言われたら、赤い色を想像(そうぞう)してしまいます。赤くても黄色くても、かんけいありません。葉っぱが色づくことを「もみじ」と言うのです。

イチョウの黄色を見て「モミジや！」と言った

ら、おやつ？と思う人がいるかもしれませぬ。

おそらく「もみじ」という言葉が先にあって、ずっと後から漢字をあてはめたのでしょうか。



♪ まっかだな まっかだな つたの はっぱが まっかだな もみじのはっぱも まっかだな

この歌の題は「真赤な秋」だそうです。

だから、「もみじ」は赤と思ってしまうのでしょね。いちばん赤く見える葉っぱはハゼノキです。遠めにも赤く見えます。



こんには。

天神てんじんさん

んのもみじ。

はっぱの数を

かぞえると七つあります。イロハカエデのもみじは七つです。よく見られるもみじなので探してみましよう。

てん・じん・さん

・の・も・み・じ。

確かに七つです。

ひとつの音に、ひ

とつのかな文字。

あ・い・う・え・お。

では、きや・きゆ・

きよ。きや・きゆ・

きよ、と書けば別な

音になります。「きや」と

「きや」は違います。

こうちようせんせい。

こう・ちよう・せん・せい。

い。音は4つ。でも、かな文字をたくさんつかいます。けいこうとう。「けーこーとー」でもよさそうです。「こーちよーせんせい」でもよさそうです。

日本語って、あたりま

えに、ふしぎに思わずつ

かっているけれど、じつ

はとてもいろいろなくふ

うがされています。

もうおぼえていないで

しようが、一年生のとき

「けこと」と書いていた

人がいると思います。「け

こと」？ 何と読むの？

と先生やママからきかれ

て「けーこーとー」と返

事したりします。

チ・ヨ・コ・レー・ト

と言いながら、じゃんけんをしてかいだんで遊んだことはおぼえているでしょう。音の数で言うくと、チヨ・コ・レー・トが正

解（せいかい）です。

しりとり遊びをしてい

て、「ぶらんこ」「こま」「ま

んごー」、さて、この続き

は？ 「ご」かな？ 「ご

お」だから「お」？ 「ご

おう」だから「う」？ 日

本語の音としては「ごー

なので「ごーかく」とか。

時雨 こんにはは。
と書いて

「しぐれ」と読む。

寒くなってきた

た。これからの季節、晴れていたのに急にくもってきて雨がふってくる時があります。かさを持ってないから、あわてて雨宿（あまやど）りできるところをさがすことになりました。ドツとたくさんふることもあります。ひとしきりふって雨が上がる。するとウソみたいに晴れてく

る。
時計 と書いて「とけい」と読む。

「時」の漢字に「と」という読みはありません。

「時計」のときだけ「とけい」です。前は、漢字で書けば「校長先生」ですが、読み（音）は「こう・ちよう・せん・せい」と4つです。4つの音を表すのに、たくさんひらかなをつかいます。

「時計」の漢字は2つですが、「時+計」と2つに分けるのではなく、「時計」で一組。一組の読み方が「とけい」なのです。

時雨も同じで「時雨」一組で「しぐれ」なのです。



「今日」と書いて「きょう」も、「七夕」と書いて「たなばた」です。こういうのは、たくさんあります。紅葉を「もみじ」と読むときや、さて「景色」や「果物」は何と読むのでしょうか。

こういうことを知っている、漢字クイズに強くなりますね。

晴れているとき、急に雨がふってきたら「しぐれ」や！と言ってみよう。夏の夕立ではつかいませぬ。寒い時だけ、です。

こんにちは。

兄弟

「きょうだい」と書いて「きょうだい」と読む。かんたんですよ。では「きょうだい」を漢字で書くとき……。

どうして兄弟は男なのでしょ。女どし「きょうだい」を兄弟と書いたら変ですか？

姉妹

と書いて、なんと読む？ 「しまい」ですが「きょうだい」と読んでかまわないのです。女男女の三

人「きょうだい」は、さてどう書けばよい？

兄妹や姉弟。これは「けいまい」「してい」と読むようですよ。でも、聞いたことありませんね。どちらも「きょうだい」と読んでよいですよ。

多胎児（ふたごなど）のあかちゃんに会おうとかわいいなあと思ってしまう、どちらが年上でどちらが年下か、なんて思いません。

きょうだい

で、よいのです。兄弟／姉妹／兄妹／姉弟、ほか

にも書けるかもしれないが、どれも間違いではありません。自由でよいのです。そして「きょうだい」とひらかなで書いても間違いではありません。

習った漢字はつかわないといけないのでしょうか？ おぼえるためにはつかうように心がけたほうがよいかもしれません、便利な漢字も、ときには不便です。

新聞などでは性別の区別なく「きょうだい」がふつうにつかわれています。

こんにちは。

さかなを数えると
 き、いっぴき・にひ
 き・さんびき……で
 すね。いっぴき・に
 びき・さんびき……
 ではないし、いちひ
 き・にひき・さんひ
 き……も違います。
 外国人が日本語を習
 うとき、むずかしい
 ようです。

1日・2日・3日

は、ついたち・ふつ
 か・みつか……これ
 もむずかしいだろう
 なあ。

10日・20日・30日は、

とおか・はつか・みそか。
 30日は月の終わり。昔は
 月の満ち欠けがこよみに
 なっていました。だから、
 31日はなくて、30日は「お
 わり」の意味でもありま
 した。

今は太陽によるこよみ
 です。そのため、31日の
 月があります。30日を
 「みそか」と言わなくな
 りました。

1年の終わりは12月31
 日。この日だけは「おお
 みそか」と言うようにな
 りました。

◇ 1日は「ついたち」と

言いますが、漢字は朔で
 す。小学校では習いませ
 ん。中学生になっても高
 校生になっても習いませ
 ん。

「ついたち」は「月立
 ち」が変化したのだそう
 です。聞こえの良い日本
 語と思いませんか。

欠けて全部見えなくな
 った月を理科では「新月」
 と学びますが、「朔(さく)」
 とも言います。

習わないから覚えな
 いというのもつたいたい
 と思いませんか。

次の朔は、年明け1
 月3日です。

こんにちは。

夜、今ごろ、オリオン座（ぎ）が見えます。夜6時ごろ、できれば8時くらいが見やすいけれど、東の方向です。一等星がピカピカと2つ光っています。勇ましいかりょうどオリオンがつけているベルトは3つの星で表されています。3つの星をそのまま真下にたどると、夜空で一番明るいシリウスがまばたいています。オリオンが連れ

ている大犬座の星です。とても明るいので見つけやすい。

☆☆☆

夜空を楽しくしてくれる星は、木星や金星などをのぞけば、すべて「太陽」です。あまりに遠いので、昼間のように明るく照らすことはなく、かがやきだけを届けてくれます。

都会は明るいので見えにくいですが、あまの川は冬でも見えます。ということは、白鳥座もどこかに見えるはずですよ。

「星くず」「あまたの星」

はたくさんに見える星の表現です。宇宙には星くずのように太陽がある。

☆

北極星は有名だけど、探すのはなかなかむずかしい。あれかな？と、なんとか見つけたとしても、星のかがやきはそんなに明るくありません。でも、オリオン座の三つ星やシリウスはほぼ真東から見えてきます。東の方向がわかれば北も西も南も見当がつきますよね。シリウスは地球に近く、今あなたが見ているのは8年前の光ですよ。

こんにちは。

「大きさを表す」

ということを考えてみます。無量大数っておそらく知っていませんよね。たくさん量の数を競い合うために子どもたちがよく使っています。でも、無量大数がどれだけ多いか、説明はだれもできないでしょう。小学生も高学年になれば「無限」と言う表現になるでしょう。ところ、では無限とはどれほどの数になるのでしょうか。数えられないから無限と

いう説明は正解の一つかもしれません。

甲子園球場の広さとくらべるのであればなんとなくわかっても、東京ドームでは関西に住む人はわかりにくいでしょう。「くらべる」というのは、自分が持っているモノサシを使うことです。実際に長さを計れるモノサシであれば使い方は簡単（かんたん）です。簡単に計れないときに、無量大数と言ったり、甲子園球場で表現してしまうのですね。

か。図鑑などで大きさや距離（きより）がのっていることから、計る方法はあるのでしょうか。



だれもが持っているモノサシは「想像（そうぞう）」です。人それぞれバラバラのモノサシです。そのモノサシの正体は「体験」です。本ではありません。知識でもありません。体験のモノサシで他人に説明するのはむずかしいけれど、りっぱなモノサシです。体験というモノサシは使いくいけれど、おとなになって大発見のもとになります。

こんにちは。

モノサシの続きです。長さ、重さ、広さなど「量」を表すモノサシはだれが計っても同じでなければなりません。日本だけでなく世界のどこでも、くらべられるのはモノサシが同じだからです。

太陽が西の地平線にかくれようとしているとき、大きく見えることがありません。太陽の大きさが変わるのではなく、見え方が変わるので、これを「みかけの大きさ」と言います。スーパームーンといつて満月が大きく見えることが話題になったりします。これも「みかけの大きさ」です。

星が強く明るく光るとき、大きくは見えないけれど、存在（そんざい）を感じます。こちらは「みかけの明るさ」といいます。



存在を感じる心、太陽や月を大きく感じる心はその「量」を計ることはできません。

親が子をいとしく感じる心、友達や人がすきに

なる心、その大きさを計ることもできません。

モノサシは正確（せい）かく）であってほしいときと、うまく説明できないけれど、正確さより、「思う気持ち」を大切にしたいときがあります。

前回の終わりの続きになります。りっぱなおとなになるには、正確なモノサシと、正確さより大切な心のモノサシ、この二つのモノサシを育てていくことではないかと思えます。「みかけの大きさ／明るさ」は、正確なモノサシと同じくらい大切ということでしょう。

こんにちは。

あいうえお
かきくけこ
さしすせそ
たちつてと
なにぬねの

はひふへほ
まみむめも
や☆ゆ☆よ
らりるれろ
わ☆わ☆を

だれでも知って
いる五十音図です。
思っていたら、と

あいうえお

.....

なにぬねの

はまやらわ

と、おぼえてしまっ
たおとながいたそう
です。

あかさたな
いきしちに
うくすつぬ
えけせてね
おこそとの

はまやらわ
ひみ☆り☆
ふむゆる☆
へめ☆れ☆
ほもよろを

さて、「ん」は？

「ん」を一字だけで発音
しにくいので「おしま
いの《ん》」と言ったりしま
す。

そして、☆印には、ど
んな文字が入り、どんな
音になるのでしょうか。

一年生でひらがなをお
ぼえてしまいますが、中
学生になっても高校生に
なっても、この五十音図
はとっても大切になりま
す。123と数字をあた
りまえのように数えたり
読み上げたりできるよう
に、五十音をもう一度す
らすら言えるようにして
おきましょう。

こんにちは。
「ん」の話。

五十音図は、たて五文字×横十行で、規則（きそく）正しくならんでいます。その中に「ん」はありません。

「いろはにほへと」は次回にしようかなと思っっていますが、「いろはにほへと」の中にも「ん」はないようです。でも、「ん」はひらがなの一つです。

しりとり遊びでは「ん」で終わったらまけますよね。「ん」

から始まる言葉がないからです。「ん？ あるよ！」と言う人がいるかもしれません。国語辞典を調べてみようよ。みんなが持っている国語辞典には「ん」の見出しがありません。この見出しも、むかしの国語辞典にはなかったそうです。

むかしといえば、さむらいの時代よりもさらにむかし、文字がよめない人が多かったとき、日本に住んでいても「ん」の言葉（文字）がなかったらしい。「えっ？ どういうこと？」と思うよね。そういえば数字の「0

（ゼロ）」は「1、2、3」よりもあとにできたようです。

「ん」や「0」の話は小学生にはむずかしい。それとも、ちようせんしたい人はいますか！

ひらがなや数字はとても便利で空気のようなもの。あたりまえと思っっていることが、そこには大切なひみつがあるようです。そのためにも五十音図をよくみてみよう。「やゆよ」ではなく「やゆ☆☆」だし「わ☆☆☆を」の☆☆ってなんなんだろう？

ん！

こんにちは。

いろはにほへと

ちりぬるを

わかよたれそ

つねならむ

うゐのおくやま

けふこえて

あさきゆめみし

ゑひもせす

まちがえてはいけ

ないと思ひ、インタ

ーネットで調べなお

したところ、わたし

は正しく覚えていま

せんでした。がつか

りでした。

みなさんは言える

のかな？ 言えたとして

も、なんのことやら、さ

っぱりわからないし、お

もしろくもないですね。

今はインターネットの

時代ですから、いざとな

れば、そして、もう少し

おとなになれば、意味が

わかるようになるのでし

ょうね。

ひらがなの数をかぞえ

ると47文字あります。五

十音図とくらべると3文

字足りません。なぜ？

わゐうゑを これって

わいうえお と読みま

す。「う」が「あいうえお」

の「う」と重なります。

つぎに、「やいゆえよ」の

「い」と「え」。これも「あ

いうえお」の「い」と「え」

が重なります。つまり、

重なる「う・い・え」の

3文字を除くと47文字に

なるというわけ。

「いろは……」は、日

本語の47の音を1回だけ

使うことでできあがって

います。五十音図と「い

ろは……」で共通してい

ることは、どちらにも

「ん」がないということ

です。

なにげなく息をすうよ

うに使っている日本語だ

けど、どうやらふしぎな

ことがいっぱいありそう

です。

こんにちは。
 「こんにち^は」は
 「わ」ではなく、ど
 うして「は」なので
 しょう。「こんばん
 は」も同じですね。
 むかしの国語辞典
 には「金田一京助」
 という名前が必ずと
 いてよいほどにこ
 の名前があります。
 ぶあつい国語辞典を
 この名前の先生が何
 冊も作っていた？と
 いうことがフシギで
 す。金田一京助は有
 名で、辞典を作る会
 社は先生の名前をつ
 かいたいと、おねが

いしたのです。金田一先
 生は気前のよい人で、ハ
 イハイと名前をかしたよ
 うです。しかし、金田一
 (きんだいち)が作った
 辞典は『明解国語辞典』
 で、この辞典の見出しは、
 たとえば「校長」は「こ
 おちよお」だったのです。
 だから、金田一先生だっ
 たら「こんにちわ」が正
 解(せいかい)なのです。
 つまり、金田一先生は徹

底(てつてい)した表音
 主義者(ひようおんしゅ
 ぎしゃ)だったのです。「こ
 んにち^わ」と書いてもま
 ちがいではないというこ
 とです。

どうして、「こんにち^は」
 なのでしょうね。わたし
 はわかりませんから、し
 かられそうです。ぼーっ
 と生きているんじゃない
 よ!!

こおちよお①「校長」
 こんにちは①「今日」——わ①「今日は」
 日中、人に会った(を)おとすれる(時)などのあ
 いさつにつかう。

こんにちは。
すっかりあたたか
くなりました。サク
ラはもう終わってし
まいましたね。ツバ
メも南の国から来て
います。

虫食(く)うて
土食うて

口シブーイ
と、ツバメは鳴きま
す。実際は、

クチャ クチャ
クチャ クチャ

ビーン
という感じですね。
ビーンのところが

「口シブーイ」です。
ツバメは泥(どろ)

を集めて巣(す)を作り
ます。ヒナが生まれると、
エサを運ぶのに忙(いそ
が)しくなります。ヒナ
には、たんぱく質(しつ)
が必要なので、虫をとる
わけです。

ウグイスも鳴いていま
す。

ホーホケキョ
ほー法華経

(ほけきょう)

す。
ホオジロも鳴いていま

一筆啓上/仕り候
いっぴつつけいじょう/
つかまつりそうろう

????? なんのこことや
らわかりません、ですか?

鳥の鳴き声を、聞こえ
方によって何かにたとえ
ることを「聞きなし(き
なし)」と言います。

ホオジロはスズメに似
(に)た鳥で、木の多い
公園や家の庭にいます。



焼酎一杯グイーツ
しょうちゅういっばい

ぐいーつ

特許許可局

とつきよきよかきよく

ちよつと来い

ちよつと来い

全部ききなしで、もし
かしたら、聞けるかも。

こんにちは。

あなたは自分のことを、なんと言いま
すか？

わたし／ぼく／お
れ。小学生になるま
では、自分の名前を
そのまま言っていた
と思います。それを、
いつのまにか言わな
くなりました。なぜ
でしょう。

わたしは「ぼく」
と言っていました。

今では「わたし」と
言います。中学生の
ころはまだ「ぼく」
だったと思います
が、高校生のときだ

ったか？ いつだったか
は思い出せないですが、
言いかたを変えるとき、
勇気がいったことをおぼ
えています。

女の場合、「わたし」を
変えることはないよう
ですが、男の場合、おとな
になっても「ぼく」のま
まの人は多くいます。有
名人にも社長や学者でも
多くいます。わざと「ぼ
く」と言っているような
気のする人もいます。

「ぼく／わたし」どち
らでもよいのかもしれま
せん。

わたしの場合、おとな
になるしるしとして、き

ようから「わたし」と言
うようにしようと思っ
ました。

秋田に住んでいた友達
が「おいら」と言ってい
たので、それを気に入っ
て、わたしもまねをし
ました。だから、たまには
「おいら」をつかいます。

相手のことを「じぶん」
という人がいます。「じぶ
ん」を相手に向かってつ
かうのは、これはおかし
いと思います。

A 「これは、だれのか
な？」

B 「じぶん(A)のやろ！」
というふう。

こんにちは。

ものの言い方や習慣（しゅうかん）を変えることは大変です。言い慣（な）れているから変えたくないという気持ちもあります。言葉が人に通じるのは、みなが同じ使い方をするからです。ですから、言い方は変えないほうがよいということも、なるほどと思います。ひっこししてきて言葉に慣れないというところもあります。関西と関東の違いに気づいたり、九

州や東北の言葉でおどろいたことがあるかもしれません。



さて、自分の両親をどのように呼びますか？

ママ／パパは今も……ですか？ 親に呼びかけるとき、ママ／パパは今も続いているかもしれませぬね。

先生「あなたのおかあさんはおうちにいるの？」
あなた「はい、母は家にいます」

こんな会話が、そろそろ始まるかな？ と思います。

自分の母親について他

人に話すときは、「母親」ではなく「母」と言います。このやりとりだけで、ずいぶんおとなになったなあと、話し相手は思うものです。練習してみますか？

練習しておかないと、いざというとき、つい「おかあさん」と言ってしまうことになります。

めんどうくさいですか？ おとなになるには、めんどうくさいことがたくさんあります。はずかしさをがまんして、ちゃんと練習しておけば、そのぶんだけ、活躍（かつやく）が約束されます。

こんにちは。

▼ぼくの前に道はない△から始まる詩があります。そのつづきは▼ぼくのうしろに道はできる△

小学生は習わないのかなあ。高村光太郎（たかむらこうたろう）という人が作った詩です。

クルマの走る道は「道路」といいますね。道路で遊んではいけません―あたりまえですよ。いまではすっかり「道路」ですが、むかしは「道みち」とよばれてい

ました。「みち」とよばれていたところは、「みち」は子どもの遊び場でした。高村光太郎が子どものときは「みち」で遊んでいました。

「みち」でいっぱい遊んでおとなになり、おとなになってからの高村光太郎は、自分の足で「みち」を作ったのです。



▼ぼくの前に道はない△道のないところを歩くつて、こわい！ ▼ぼくのうしろに道はできる△道があれば、安心。みんなが安心して歩けるには、だれかが最初に道をつく

らないといけないというわけですね。

クルマはできあがった道を行います。国語辞典で「道」を調べると、一番目には、道路の意味が書かれています。

しかし、クルマや足で進む「みち」だけでなく、「今よりもっと良い方法や考えを実行すること」「「みち」とあります。高村光太郎は、歩く道ではなく、良い方法や考えを実行する道のことを言っているようです。

あなたも「みち」をつくってみたいと思いませんか？

こんにちは。

ハガキに63円切手
(きって)をはると
日本中どこにでも届
きます。ふしぎです
ねえ。えっ? あた
りまえ?

日本中にハガキを
届けてくれる郵便局
(ゆうびんきょく)
はいくつあるでしょ
うか?

それは、二万です。
日本中の子どもは
小学校に行きます。
小学校はいくつある
でしょうか?

それは、二万です。

日本中どこにもコンピ

ニはあります。いくつあ
るでしょうか?

それは五万です。

郵便局や小学校は国が
責任(せきにん)をもつ
てつくっています。コ
ンピニは、ローソンやセ
ブンイレブン、ファミマ
やほかにもあって競争し
ています。だから、二万
あればなんとかなるのに、
競争しているから多くで
きてしまいます。つぶれ
てなくなるかもしれない
コンピニは、生き残るた
めにいっしょうけんめい
働き、苦労しなくてはな

りません。



切手は郵便局に行けば
買えます。ポストはもつ
とたくさんあるので、ハ
ガキを出すのはかんたん
です。郵便局もポストも
小学校も、多くの人びと
がつくってきました。

高村光太郎が「道みち」
をつくろうとしたように、
二万もの郵便局や、競争
して五万のコンピニをつ
くってきた多くの人びと
がいたので。「道」はだ
れにでも、これからも、
つくり続けられるとわた
しは思います。

こんにちは。

「こんにちは。お元気ですか。」と手紙や現代だとメール、でたずねられたら、さあ、どうこたえますか。①「元気です」②元気がないときは、どうこたえたらよいでしょうか？③「こんにちは」と同じで、あいさつのようなものだから、元気か？と、きかれてもこたえない。

手紙でなくても、久しぶりに会ったお

ばさんに「元気にしてる？」と、きかれたときも同じですね。ほんとうのことを言うか、頭をペコッとさげてニコッとするだけにするか。

あいさつって、むずかしい。めんどくさい。な。ンだけれど、自転車のアブラのようなもので、アブラがきれるとキコキコとうるさいし、乗り心地も悪い。

だったら、アブラをさしてもらうばかりでなく、自分からだれかさんにア

ブラをさせばよいのだ。足りなくならないようアブラをたくさん用意しておこう。

オリーブオイル、なたね油、ごま油、……こんなアブラではないか？ごま油でもよいかもよ。

人と人のあいだにさすアブラって何よ！そうそう、あいさつでした。あいさつだけでなく、中身のありそうな話でも、あいさつほどのアブラかもしれない。なんでもかんでも、しんけんになることはないのだ！

こんにちは。

野球選手のバットをにぎる手にデッドボールを受けたり、打ったボールがはねかえってきて足に当たったりすると、とても痛(いた)がるね。でも、しんぼうしてしばらくするとふだんにもどります。これはエンドルフィンという名のホルモンの働きで、からだから自動的に出てくるからだそうです。

ちなみに「デッドボール」は英語みた

いだけれど、これは日本だけで使われているようで、アメリカでは別の言葉ということですよ。

くっしんしたり、さすっている間に時間がたち、エンドルフィンの作用で痛みがなくなるようです。さすったり、なでられてやさしくされるとオキシトシンという別の名のホルモンが出てきます。やさしくされ気持ち立ち直るのにオキシトシンは役立だっているようです。

小さい子はなかなか泣きやみません。泣いてい

るいだにエンドルフィンとオキシトシンの共同作用で「もうだいじょうぶ」の状態にしてくれます。

手をつなぐ、頭や背(せ)にふれるだけでもオキシトシンは出ます。あかちゃんを見て「かわいいなあ」と思うだけでも、だっこすればなおさら、だっこするあなたにオキシトシンが出てきます。心はホルモンの働きを高めます。ホルモンは心を強くしてくれます。わたしたちのからだはともふしぎ。ホルモンさん

となかよくしておこう。

こんにちは。

「あっ、お月さんが出てる」というように、お月さんを見ることはあると思います。でも、「あっ、一番星！」と言うことはあるのかなあ？

月は明るい空でも、昼でも見えるけれど、星は暗くならないと見えません。キャンプのときは、外で夜をすごすので星を見つけやすいでしょう。昼間に見える星は一つだけ。なんの星かな？

夜に見える星は何個で

しよう？ その星がひろがっている場所が宇宙（うちゅう）です。宇宙にかべがなくて、どこまでもひろがっていたら、星は無数のだけあることになりま。星の一つ一つは一等星のように明るい星でも、昼間の太陽ほどには明るくありません。それは、一等星がとても遠いところで輝（かがや）いているからです。宇宙にかべがなかったら、この一等星が何千個、何万個、もっとあることになるのかもしれない。

すると、ふしぎなおこります。無限の星が集まって夜はまぶしいほどに明るくなります。夜がなくなるのです。

このことはドイツの天文学者オルバースが考えたことですが、アメリカの天文学者ハッブルは宇宙はものすごいスピードでひろがっているというのです。それは光より速いスピードでないとはり地球に届いてしまます。動いていないように見える星は、どうやらとんでもない速さで地球からはなれているようです。

こんにちは。

あなたは郵便局(ゆうびんきょく)に行つたことは、ありますか？ 手紙やはがきはポストに入れたら相手に届きます。郵便局まで行かなくてよいですね。切手を買ったことはありますか？ これもコンビニなど郵便局でなくても買えるところがあります。お金をあずけることもできます。銀行に似た仕事もしています。ポストに入れた手

紙は切手をはれば日本国内だけでなく世界中に届きます。インターネットの時代ですから、お金をかけずに通信することはできます。それでも、郵便物を届けてくれる仕事があるということ、すごいと思いませんか。

インターネットを使うと瞬時(しゅんじ)に届ちに、ということ)が届きます。返事も早く受け取れます。郵便の場合は時間がかかります。お金もかかるし時間もかかる。ポストまで行かなくてはいけません。

でもね、家の郵便受け(ポスト)に手紙が届いていると、なにかな？と心うきうきします。

星の光は、じつは何万年もかかって地球に届いています。気づかないだけです。家に届くまでに手紙にかかった日数は数日でしょうか。ほしいものがなんでもすぐに手に入るようになりました。それをあたりまえと思わず、わざと時間をかけます。楽しみもあります。

63円切手で
実現します。



こんにちは。

日射（ひざ）しはアツイ。山に登るなどして太陽に近づいたらアツイはずなのに、高い山はどうして寒いのか？

胸（むね）がアツクなる、目頭（めがしら）がアツクなる、という経験はありますか？

氷水に手をしずめて、がまんくらべをする。ツメタ〜イ！あの人はツメタイ！からだど心でつかうアツイ、ツメタイ

がある。心のアツイ、ツメタイは温度計で計れない。でも、心で計れるような気がする。

そういえばアタタカイともいったりするなあ。

その「こころ」はどこにある？ ドキドキすることは確かにある。だからムネかな？ ドキドキしたらムネを押さえたりするね。

ムネがキュツとすることもある。どんなとき？ ムネがちぢむのかな？



答えを調べることはかんだんかもしれない。し

かし、答えを知ってもムネのキュツは、やっぱりムネに秘密があるように思う。アタタカイ気持ちになる理由はわかって、部分じゃなくてからだ全体で味わいたい。

おいしいものを食べたとき、口の中やのどごしでうれしいと感じる。わくわくする時間がいっぱいあったらいいなあと思う。

「答え」はなんのためにあるのだろう。知っていることは、もちろん大切だろうけれど、感じられる幸せは最高！

こんにちは。

エスカレーターでは手すりにさわりますか？ 歩くのはよくないそうですよ。

ある日のこと、こしが痛（いた）いの私にはうっかりエスカレーターに乗ってしまいました。乗ってすぐに気づきました。上りだったので、どんどん上上がっていきます。手すりに手をおいています、手すりの終わりが見えています。手についていないと、

足だけでは立っていただけませんか。このときばかりは、エスカレーターの速いこと速いこと。かくごを決めるしかありません。上手にたおれることができますように。



私は保育園でときどき働いています。小さな子どもと手をつなぎます。かわいいよ！

と書いていたら、もしかしたら違うかも？

私はエスカレーターの手すりなのかもしれない。どういうこと？

「やまだセンサー好き」

と言いつつ手をつないでほしそうにします。そのことはウソではないよ。うなのだけれど、手をつなぐことで安心するのね。好きな人と手がつなげてうれしい、と。

ここからが大切なことです。少しむずかしいから考えてね。

おさない子どもは、好きときらいだけで、フツツーはあまりつかわない。だから、好きもきらいもそれほど大切なことではなく、安心が一番大事。手すりになってほしいというわけ。

こんにちは。

①「足の親指で自分の鼻をさわる」

できますか？ 私はからだがかたくてぜんぜん届きません。

②「手で足の親指をさわる」これはかんたん。できます。「さわられた」と

感じる／わかる、の脳(のう)がわかるからです。鼻は脳に近いですね。足の指は脳から遠い。身長が170センチのおとなの場合、足の指と鼻とで、さわられたと感じる時間差は0.03秒だそうです。そんな

時間差なんて、わかるわけない。同時と違って、いいんじゃない？

◇ でもね、熱い鉄板をさわったりして、手をやけどをしたときは「アツッ！」って、急いで手をはなしますね。おそかりし。やけどをしたあとですよね。0.01秒以内に気づくのですが、やけどをしてしまったアトというわけ。もっと早く気づくようになればいいのね。

◇

背中(せなか)をだれかが見たい。うしろを見ますよね。これは0.01秒以内に気づきます。

自分の体は場所によって0.03秒と0.01秒より時間がかかるのに、どうして自分の体は同時と感じてしまうのでしょうか。

「同時」と感じてしまうのは、時間差を感じないようにするしくみがあるからです。しくみについて、よくわかっているようにです。自分の時間差をなくして、自分以外とのふれあい、たとえばハイタッチが楽しめるように……。

あかちゃんも、自分で自分をさわることで、だれかにさわられること、この区別ができるのです。

こんにちは。

ロボットが人

間よりかしくくなつてしまつたら、どうしようとするごく心配なのですが、あなたはどうですか？ しようぎではコンピュータにプロのしょうじ師が負けるといふでしょう。あなたは気にしないでですか？ レストランではロボットが注文した食事を運んでくるところがあるそうです。そんなロボットなら出会つてみたいなあと思います。

さみしくなつたお年寄りの相手をしてくれるペットのロボットがいるそうです。

電車に乗るとききつぷを買います。ロボットの私たちはしていないけれど、きつぷを売るロボットと考へてもよさそうです。お年寄りの中には、きつぷの買いかたがわからなくて、券売機（けんばいき）の前で困る人も多くいるそうです。

スマホが便利なように、じつはロボットが身の回りに、もうたくさんいるようです。

もし、ロボットが人間

よりかしくくなつたら：と、また思つてしまいました。

ロボットは人間が作ったものです。しかし、かしくなつたロボットは、ロボットが考へてロボットを作るかもしれせん。ロボットが考へて、人間にロボットを作らせるかもしれません。

私は今、脳（のう）の勉強をしています。人間とロボットは「かしこさ」が違つていて、まだまだロボットは人間になれないそうです。将来（しょうらい）に脳やロボットの研究者になる人、いないかなあ。

こんにちは。

ロボットではなく人間の話をしよう。

ロボットは病気になるかもしれないけれど人間は病気になる。ロボットはこわれな
いのかなあ？

自分が病気になっ
てしまったら困るけれど、友達が病気になるっても心配です。ロボットは心配したりするのかなあ？

ロボットはこわれたら部品を変えたりして直すのでしょうか。でも、人間は組み立てるものではない

いからケガを治したり薬を飲んだり手術して治す。



病気になるってしまったら、治るまで希望を持たないのでしょうか？ 後遺症（こういしょう）が残ったりして、すっかり治るまでには時間がかかるかもしれない。

病気になるってしまったも、障がいを負ってしまったも、ロボットとは全然違うのだと思います。

かみの毛は抜けて新しくなる。つめは毎日のびる。ひふはアカになって落ちる。つめや毛はわかりやすいけれど、ひふも

新しくなっているって、わかるかな？

からだの中も、たえず新しくなっています。血もきん肉も。心臓も。目玉も……みんな全部。

ケガをして血が出ても、しばらくしたらきれいになるように、からだ全部すみずみまで、じつは脳も骨も、まっさらになるように働いています。（歯は、例外かな？）

人間は、さらっぴんになる力が毎日働いているということですよ。

食事して、運動をして、寝ているのは、さらっぴんになるためです。

こんにちは。

五年生のころとおぼえているのですが、わたしは「たんでい手帳」を持っていました。それに何が書かれていたのかまったくおぼえていません。だからかつてに想像するのですが、と言いなながら、ウーンぜんぜん思い出せない。たぶん「ひみつ手帳」みたいなものかなあ……？

てのひらに入ってしまうぐらいの小さいやつで緑色だったかな？

色の記憶（きおく）って、

いいかげんなんだ。ひきにげされた事件現場にいたことがあって、けいさつで話したら「クルマの色は？」ときかれた。ほかに現場にいた人がいて、その人の言った色とわたしが言った色は違っていた。たぶんぐんぜんだけど、わたしのが合っていた。そのとき、けいさつかんが言っていました。「色の記憶はあてにならない」って。

ところで、手帳のことだった。自分のすきな手帳ってあるのかな？ 大きさだったり、色だった

り、こだわりがあると楽しい。紙を折り、ノートのようにして作ってもいいね。たんでい手帳やひみつ手帳になるように、写真や、何かを切り抜いて、はりつけてもいいね。

まずは、自分の名前と住所と電話番号を書いて。「すきなこと」「きれいなこと」のページがあつて。「目標」とかも。

それから、表紙を工夫して見る。絵をかいてもいいわけだけれど、布をはりつけると手ざわりが変わっておもしろい。サンドペーパーにするとか。わたしだけの手帳だね。

こんにちは。

冷たい空気にあたり、星はいっそう光っているように見えます。今年一月のハガキでも星のことを書いていました。

星や宇宙についてはなんども書いています。ように思います。

コップに海の水をすくい、その水を海に捨(す)てて、太平洋をかきまぜて、もう一度コップですくうと、さきほど捨てた水の一つぶが入っているそうです。

中学生のときだったか、理科の教科書にのっていたようにおぼえています。

星のことを思うと、この水つぶが思い出され、砂浜(はま)の砂をすくいたくなります。

足もとの砂、海の水つぶ、星の光が同じに思えてくるのです。

☆

遠くで光っている星の光は何年もかかって地球に届きます。一万年以上もかかる星の光はたくさんあります。太平洋をかきまぜてもすくえる水の小ささもフシギだけれど、

星の光も遠すぎてフシギです。

わたしたちのからだは細胞(さいぼう)でできていますが、その細胞の数は六十兆個もあるということです。髪(かみ)の毛が伸(の)びるよう

に、六十兆個の細胞は、新しい細胞にたえず生まれかわっています。このことは、前々回に書きましたね。

遠くを見上げたり、足もとを見るためにしゃがんだり、水をすくうために腰(こし)をまげたり、からだ全部が心ですね。

こんにちは。

方角（ほうがく）

の話。東は今では「ひ

がし」と読みますが、

千年以上むかしは

「ひむがし」だった

そうです。「ひ」は

「おひさま」のこと。

朝、太陽がすがたを

見せてくれる方向が

東。太陽に「向かう」

で、東のほうを見る、

ということですね。

「向かう」が「むか」

になり「むが」にな

った。千年よりもつ

と昔は「むか」だっ

たもしれない。そし

て、いつのまにか「む

がとれて「が」だけにな

った。

さて、「し」は？ 西「に

し」にも「し」がある。「し」

は「風がふく」のこと。

風は、どこか遠くから吹

いてきて、そのままどこ

かに行ってしまう。風は

じっとしていなくて、ど

こかへ飛んでいくので、

方向の意味になったので

す。西（にし）の「に」

は、日がかくれる意味が

あるようです。

ひ+が+し || 太陽が出

てくる方向、ということ

ですね。

では、北と南は？ と

なりますよね。ところが、

こちらは、まだよくわか

らないままです。北も南

も、太陽と関係があるので

でしょうか？

「いま、なんじ？」と

気になったとき、あなた

は時計をさがしますか？

明るいとさきだったら、

太陽をさがそう。真上に

あったら、12時ごろです。

朝、学校へ行くときは太

陽はどの方向にあります

か？ 夕焼けは海にせず

もうとしているときです

ね。夜は？ おやすみ。

こんにちは。

石の上にも□年

□に入る数字は？

広辞苑(こうじえん)という
ぶ厚い辞典には、

「石の上でも□年続
けてすわれれば暖ま

る」から、しんぼう
すれば成功するとい

うことだそうですね。
そうかなあ？ 暖ま

るのは、おしりです
ようか？ 冬がくれ

ばからだは冷えます。
第一、□年も、

あなたはしんぼうで
きますか？

□日坊主(ぼうず)に

ならないよう、ところが

けた人は多いでしょう。

□年は長すぎるけれど、

□日なら、なんとかなる
でしょうか？ ところで、

どうして「坊主」なので
しょう？

むかしから言われてき
たことでも、いや、むか

しから言われ続けている
からこそ、ときには「な

ぜ？」と考えてみること
が必要です。むずかしい

言葉になります。リテ
ラシーといつて、**読み書**

きの力になります。



ある名高い仏の道でし

ゆぎようしている人が、

自分で書いた文章の中に、

石にすわっていたら足に

コケが生(は)えた、とし
ていました。向かいのお

堂の中で小声で話してい
る人の声が聞こえたとも

ありました。ウソだ！と
思っても、しゅぎようし

ている人は特別な気持ち
になるのかもしれない。

尊敬(そんけい)する心は
大切です。いいつたえも

大切です。それらを大切
にした上で、**自分の考え**

をしつかりもつことは、
もっと大切なことと、私

は思います。

こんにちは。

ゆうゆけこやけの

あかとんぼ

おわれてみたのは

いつのひか

寒いし、トンボも

飛んでいないのに、

ラジオから流れてき

たバイオリンのメロ

デーが、なんだか

身にしみる。

赤トンボが飛んで

いる風景を浮かべる

ことはできるでしょ

うか。

空が赤くなった夕

焼けの、のどかな景

色が想像されます。

「おわれて」は「負わ

れて」と書きます。「追わ

れて」ではありません。

背中に負われて——とい

う意味です。

おんぶされたこと、覚

えていますか？ 覚えて

いることはないと思うの

に、なぜか、背中せなかや、

かぶせられた「ねんねこ」

のぬくもりを思い出す。

さっかくとわかつている

けれど、ふしぎです。

十五でねえやは

よめにゆき

この詩の、あとに出て

くるフレーズです。お姉

さんの背中に負われてい

たのです。

夕陽を見て、お姉さん

を思い出しているのですし

ようか。あるいは、赤ト

ンボを見ると、お姉さん

を思い出すのでしょうか。

とても有名な詩で、お

とななら知らない人はい

ないほどのうたです。詩

に書かれている思いに心

を重ねて歌っている人は

多くないと思います。

この詩は百年前の景色

です。今のように高い建

物がなく、遠くまで見通

せたでしょう。ゆうやけ

のイメージが違ってきて

いるのかもしれませんが。

こんにちは。

「飛ぶ」

この「飛」の書き順は？

右と左なら書けるよ！と、言う人は多いかもしれないですね。

筆順、ひつじゅんと言いますよね。筆順と「書き順」は同じでしょうか？

書道では筆順を守るように教えられます。でも、みんなが書道をするわけではありません。筆順を

習う機会がなかった人には「筆順」はけっこうむずかしいことなのです。わたしの名前「山田」の

田。この書き順は？

口と十の組み合わせ

と知っている人と、「筆順」を知っている人とは、書き順に違いがあったりします。実際、山田さん、田中さんで、人それぞれバラバラです。



ある漢和辞典の付録で「筆順は書き順ともいう。

むしろ書き順というほうが、これからの日本語と

しては望ましい。」とあります。

だから、「正しい」書き順というものはないのです。どうなふうに書いても、まちがいではありません。

右ききの人にはあたりまえでも、左ききだと、さてどう書いたらよいのかな？と、まようかもしれません。

書き順が違えば、字のかたちが変わることはありません。かたちにこだわらなければよいのです。

てで下飛飛飛

こんにちは。

学校の教室で漢字を覚えるとき、わたしが子どものときは先生が黒板に書くとき、それを見て書きました。

クラスのみんながいつせいに覚えるときは、必要なことでしょうか。でもね、先生が書くとおりでなくても、どんな書き方をして、**田**になれば、それは間違いではありません。書き順にはいろいろ

ろあるとしても、覚えやすい書き順は、あります。だから、自由に好き勝手に書いて良いというものでもありません。

漢字を覚える理由は、漢字を読んだり書いたりできるようになるためです。書き取りテストで良い点数をとるためだけにあるのではありません。

「兄弟」は何と読みますか？ 女ばかりだと「姉妹」と書き、兄弟も姉妹も「きょうだい」と読みます。兄妹も姉弟も「きょうだい」と読みます。漢字は便利だけれど、不

便なときもあります。兄弟と漢字書かず、ひらがなだけで「きょうだい」と書いてよいことになっています。

小学校で学ぶ漢字の数は、約千字です。しかし、漢字の数はもっと多くあります。使われなくなった漢字をふくめると、その数は五万字にもなります。

だから、小学生のあいだに習う漢字をしっかりと身につけておくと、おとなになつてからは、もっと広がりがあるものになります。

こんにちは。

「きのうの朝の教室のまどの向こうの木に、とまっていたカラスは大きかったのでちよつとこわかった」

「きのうの朝、教室のまどから見える木に、とまっていたカラスは大きかったのでちよつとこわかった」

のが続く文をわざと作ってみました。そして、それを書きかえました。

このように「の」

でつなげてしまう文は、かんたんに作れてしまいます。けれど、読む側になると「の」のつながりがわかりにくくなります。文章は説明するときによく使われます。説明だから、つい「の」でつなげてしまうことになります。「の」がくりかえしになりそうなきは、「の」をつかわないですむ方法を工夫しましょう。



でも、じつは、「の」のくりかえしをさけることは意外とむずかしいのです。文章がじょうずにな

るコツでもあります。このむずかしさは、小学生だからではありません。文章は、読んでもらったときにわかりやすくなるように書くということが大切です。つまり、「ころ」をこめる、ということとです。小学生のときに始めると、おとなになつてからよりも、身につけやすい。

「我が子（わがこ）」は、「わたしの子」という意味です。「の」が「が」に変化しているのです。「我が家」（わがや）は「わたしの家」ですね。

こんにちは。

あたたかい日が続いたので、サクラがもうさいていますね。ツクシの顔も出ていました。タンポポの黄色も目立つようになつたし、ピンクやむらさきの小さな花もたくさん……寒い日もあるけれど、冬はとつくに過ぎて、足もとは春でいっぱいになっていくのですね。

わたしが小学生のころ、花を見つけて「春がきた」なんて

思わなかつた。もうすぐ五年生だ、もうすぐ六年生だと自分のことばかりを思っていたような気がします。

自分のことばかりというよりも、友達と遊んだりすることが楽しかったように思います。

中学校に進むことや高校に進むことなど、未来があるから、春が来たなんて思うヒマはないのかもしれません。

未来に希望がもてるのは、平和だからです。ウクライナのように戦争になってしまったら、夢も

希望も持てなくなりそうです。夢も希望もあるから、花が咲いていたら、黄色や赤い花の色が目につきます。

サクラがきれいなのは、あまりにもたくさんのがさき、サクラの花だらけになるからでしょう。花を美しいと思う心は、平和のしるしです。

花を美しいと感じる心は、花ひとつだけがさいていても、ふと気づいて、きれいだなあと思うものです。

あたたかい風は、平和な春のしらせです。

こんにちは。

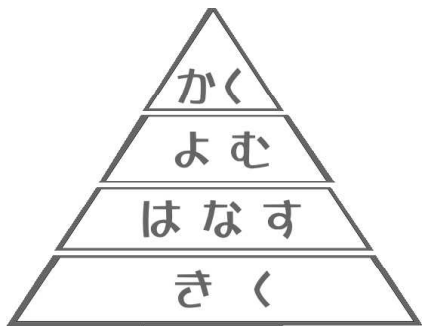
進学、進級、おめでとうございます。

早めにサクラが満開になり気分を盛りあげてくれました。

このレターは最終の一年に入りました。むずかしいときもあるかもしれませんが、言い残してこうかいのないようになんとかがんばります。

下に▲の図があります。

「かく書く」は一番上にあります。



小さい▲です。「書く」ためには、そのキソとして「読む」という土台が必要で、読めるようになるには、たっぷり話せることが条件になります。そして、すべてのキソは

「聞く」ことにあります。この順番が変わることはありません。どんなにエライ人も、人の話を聞いて受け入れる心がないといけません。

それぞれがしめている広さも大切です。「書く」「書ける」ということは、エライことでなく、ちっほけなことです。

いろいろな人の話を聞けることは大切というだけではなく、▲のかたちをくずさないための土台になります。▼こんなふうになってしまっは、役に立たないのです。

こんにちは。

どうして

「きく」が
大事なので
しよう。た
だ、聞いてい
るだけ
と思えますよ
ね。



「きく」とい
うこ
とは、だれか
が話し
ている。だか
ら、わ
たしは聞い
ている。

そのだれか
が話し
ていると、相
手の気
持ちや考え
がわかり
ます。ウソ
かもしれ
ないとい
ジワルな
こ
とも思
ったりす
るけ
れど、自
分だっ
てい

つも正しいわけではない。

相手の気持ち
がわかって
そのあとで
自分の心
に気
づいたり
します。

順番を
考えて
みよう。

相手の
気持ちが
先で、自
分の
気持ちが
あと。

ちよ
っとむ
ずかし
いか
な？
だっ
て、自
分が
思
うか
ら、相
手も
きつ
とそ
う思
う、と
思
うも
のね。

「きく」
が先
で、「き
く」

こと
で土
台が
でき
るか
ら
▲の
かた
ちに
なる。

友
達の
気持
ちが
わか
る
っ
て気
持
ち
が
い
い。
そ
れ
は、
じ
つ
は
「自
分
に」
気
づ
く
よ
う
に
な
る
か
ら
で
す。

友達の
気持
ちが
わか
ると、

わか
れば
わか
るほ
ど、
自
分
の
考
え
や
気
持
ち
が
ど
ん
ど
ん
ふ
く
ら
む
の
で
す。
ふ
し
ぎ
で
す。

相
手
の
こ
と
を
わ
か
れ
ば
わ
か
る
ほ
ど、
そ
の
ぶ
ん
だ
け
自
分
の
こ
と
が
よ
く
わ
か
る
よ
う
に
な
る。
だ
か
ら
「き
く」
こ
と
が
大
切
な
の
で
す。

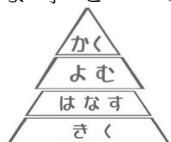
ひ
と
の
話
を
聞
く
こ
と
が
じ
よ
う
ず
に
な
れ
ば
友
達
は、
た
ぶ
ん
で
す
が、
よ
り
た
く
さ
ん
で
き
る
で
し
よ
う。
た
ぶ
ん、
と
い
う
の
は、
友
達
じ
ゃ
な
い
と
思
っ
て
い
る
人
も、
じ
つ
は
あ
な
た
の
話
を
聞
い
て
い
る
か
ら
で
す。

こんにちは。
お手紙を書きながら、わたしも考えています。

「話す」は苦手だけれど、「読む」となら得意という人はいません。▲のかたちにならない。

▲なのかも？

読むとは、文字を読みま



す。手話や点字でも、あるいは♪も読むと言います。△の4つの重なりは順序は変

わらないけれど、《聞く・話す》と《読む・書く》はグループを別にするのかもしれない。

おさないときは《聞く・話す》だけれど、文字をおぼえてからは、あるいは絵をかいいたり♪などの記号が使えるようになって、表現はいろいろとふくざつになってきます。絵本はおさない子も読めます。文字をおぼえてからの絵本と、文字を知らないときの絵本と、その絵本のはたらきは違うのかもしれない。どうやら脳（のう）の

はたらきが《》のグループごとに違うようです。

文字は「見て」読みますが、点字は「ふれて」読めます。この「見て」と

「ふれて」は、動作は違いますが、脳は同じ所で感じとり考えるようです。

「話す」が苦手でも「読む」が得意であることは、脳が願っているのかもしれない。

わたしは、書きながら考えるタイプです。書いた文字を自分で「読んで」そうかもしれない……と、思い直すこと、よくあります。

こんにちは。

スマホやタブレット

トは、今の子どもたちには「あたりまえ」

になってしまいました

た。電話や写真はい

つでもかかんたん。そ

して、A、I、E、アイ

も身近になってきま

した。

▲きく・はなす・

よむ・かく△このこ

とも、みなさんがお

となになったころ

は、すっかり変わっ

ているのかもしれない

せん。なにが変わる

かというところ、▲きく

…：かく△は、大切なこ

とではなく、コンピュー

タが代わりにやってくれ

る、ということですよ。

「学校」という勉強の

場所の考え方も大きく変

わろうとしています。江

戸時代に武士は刀をさし

ていました。刀がなくな

るとは、江戸時代の人は

思ってもみなかったでし

よう。それと同じことが

起きようとしています。

聞くや話すは話し言葉。

読むや書くは書き言葉で

す。共通しているのは「こ

とば」。「ことば」がもつ

ている力を人間が行うの

ではなく、コンピュータ

がしてくれるということ

ですよ。どう思いますか？

便利になると思います

か？

しかし、「感じる」こと

はコンピュータにはでき

ません。「ことば」より、

さらに強力に人間にそな

わっている力は「感じる」

ということですよ。五感と

もいいます。「ことば」の

力が弱くなることは、わ

たしには心配ですが、五

感をきたえておくことは

同じだけ大切です。

こんにちは。

このお手紙（はがき）のタイトルは「ラブレターを書く」としてきます。みなさんが大きくなってラブレターを書くときにかっこうよく書いて欲しいと思って、そのお手伝いのつもりでした。でもね、AIが登場してきたりして、自分の頭で文章を書くのは、限られた人たちだけに限り、もはや時代にそぐわないのかもしれない、なんて思

始めました。メールやラインは短い文で要件だけ伝わればよい。インスタやユーチューブは写真や動画ですむ。みなさんがおとなになって、いよいよかつやくするゾーというときには、もっと進んでいるかもしれない。話すことは書くことよりも重要になるかもしれない。もしかしたら、自分の代わりに話してくれる機械が現れるかもしれない。食べたいものが入るかもしれない。わたしたちの手や足、か

らだは何に役立つのでしょうか？ 「便利になる」ということは、どういうことなのでしょう。からだに栄養が必要とすることは気づいているでしょう。栄養は「ころ」にも必要です。からだに栄養をとった結果は目に見えることもある。けれども、こころは目に見えませんが、「こころ」を、伝えるために言葉を使います。音楽や絵画などで表現します。スポーツも表現のひとつでしょう。こころは、便利さに負けてはなりません。

こんにちは。

自分が6年生のとき、どうだったか？ 思い出そうとしていきます。72-11-61年前になります。覚えていたこと、あるんですねえ。部分は覚えていたのに、その前後が出てきません。たとえば、ぞうきんをしぼって黒くよごれたバケツの水を流して捨てないで、ろうかのみぞのような所で捨てたとき、一階へのといが運悪くこわれてい

て、下の階で水があふれてしまいました。名案と思ったのですが、ひどくしかられました。細かいことは何も覚えていないけれど、「失敗の大きさ」だけがいつまでも記憶(きおく)に残っているのです。といがこわれていたのではなく、水を大量に流したことであふれたのかもかもしれません。

5年生のときは、先生にすすめられた本を注文して、毎日毎日「まだですか？」と、今にして思えば、しつこくしょくいん室に行ってさいそくし

たことがあります。とうとう、しびれをきらした先生が自分のサインをしてプレゼントしてもらったすてきな記憶もあります。それは六甲山の自然のことに書いた本で、宝物になりました。

何年生だったか？ 思い出せないけれど、夏休みの宿題で「昆虫採集箱」を作りました。それから一年後、箱をあけたら死んだトンボ（だったかな？）を発見！ そのとき「虫をころすのは、もうやめよう」と心に決めたことを覚えています。

こんにちは。

辞典をひいて、なるほどとすぐわかることってというのは、忘れてしまったり役に立たないことが多い。「どういうこと？」と、ひっかかるぐらいなのがちょうどいい。ぜんぜん意味わからんは、まだ早いということなのかもしれません。

『悪魔あくまの辞典』

というものがあります。ピアスというアメリカ人が作りました。図書館にあると

思います。これを国語辞典と思つて調べると、「どういうこと？」ばかりです。なるほど……と思つたり、自分の考えと違ふと思つたり……。つまり、辞典というのは必ずしも「正しい」とは限らないということですよ。

「こたえがある」ということは、どういうことでしょうか？ 低学年のときは「こたえ」があるから次に考えられるようになりまます。でも、6年生や中高生になると「こたえ」は、自分で見つける練習が絶対に必要です。

ときには、「こたえ」を自分でつくり出さなければならぬでしょう。

過去の発明王や偉人は「こたえ」をつくりだす名人であつたわけですよ。自分でつくつたこたえはだれも信じないかもしれませんが。でも、自分にとつてはこたえなのです。

将棋しょうぎ 藤井聡太ふじい

そうした名人はまさに現代の偉人です。最年少の記録破りで有名になりましたが、「こたえ」をつくりだす名人ということに気づいている人は、はたして、どれほどいるのでしょうか。

こんにちは。

「学ぶ」を辞書で調べると「教えてもらったったり、見習ったりして、知識や技術を身につける。」とあります。学んだ知識がどれほど身についたか、テストを受けます。技術はからだで覚えたことだから、体育も技術のひとつです。体力のテストがあったりします。当然ながら、得意と苦手があります。

さて、だれのため

に「学ぶ」のでしょうか。

ほとんどの人は、自分のためとたえます。きっとそうだと思います。でもね、少しいじ悪く言うとうと、悪魔の辞典のように言うとうと、人につかわれるために学ぶのです。だって、かしこくない人は人から用事を頼まれませんか。信用されるということとは、知識や技術を確かに持っているからです。ということは、自分のためではなく、人のため、ということになりますね。さあ、反論しましょう。やっぱり自分のためだか

ら。

「どんぐりの背比べ」という言葉を知っていますか？ 目標を定めて、努力すれば、それに届きます。その目標は、だれにも共通する目標です。だから、目標に届いても、結果は、どんぐりの背比べなんです。

ということとは、だれにも共通しない目標をもてばよいということになります。自分だけの目標を。変わり者と言われることになりそうですが、人に役立ちながら、自分のやりがいにもなります。

こんにちは。

「ないしょ！ だれにも言ったらあかんよ」と言われるほど、だれかに話してしまいそうで自信がないのが、わたしの小学生のときでした。いちばんなかのよい友達だったら：と思い、こっそり「ないしょやけど……」と言いながら言ってしまったりしていたのではなかったかなあと記憶しています。

でも今はぜったい

だいじょうぶ。秘密は必ず守ります。いつから守れるようになったのか、それはまったくわかりません。

『おうさまのみみは口バのみみ』のはなしを、おそらく知っているでしょう。このはなしは世界じゅうで有名なのだそうです。知ってしまったことは、だれかにはなしたくなるものだ、ということとは人類共通ということですね。ちよっとおおげさかな。それであっても、秘密を守るということは、大切なのだということ、

おとなになるためには身につける必要がある学びです。

「秘密」は、すてきです。宝ものにしたくなるような秘密を一つでも二つでも、もっとたくさんでも胸にしまっておけるようになりたい。「自分の秘密」をだれにも打ち明けずにかくしとおせることは、じつはとてもむずかしい。小さい子は「ヒミツ」と言いながら、いっぱいヒミツを教えてくれます。ヒミツが秘密になるとき、それがおとなになるということでしょうか。

こんにちは。

これを知るをこれを知ると為し、知らざること知らずと為せ。是れ知るなり。

読めないし意味もわからない、ですね。

知るを知るとし、知らずを知らずとする、これ知るなり。

これだと、わかりますか？

「知っている」ことは「知っている」と言えます。「知らない」ことは「知らない」「わかりませぬ」と言おう、とい

うことです。

大切なことは後半です。知っていることは、だれでも知ってると言えます。

しかし、知らない・わからないことは、少しは迷います。学校で習ったことを、知らないと言ってしまうと、わらわれるかもしれない。自分だけがわからなくて、ほかの子はわかる。いやですね。

「わからない」と気づくと、調べようとします。「わからない」ままにしておくと、調べないかもしれない。

最初のむずかしそうないい方は、二千五百年のむかし、中国の孔子（こうし）が書いた「論語」（ろんご）にあることです。

「知らない」「わからない」は、貯金（ちよきん）のようなものです。ためたことをおすすめます。ためた中から、使います。貯金がふえたらうれしいように、知らないことがふえると、とても役に立ちます。もちろん、そのままでは役立ちませぬ。貯金からおろして、わからないを減らさなくては……。

こんにちは。

「わかった？」と
たずねられて、わか
ったときは「わかっ
た」と答えられる。
でも、わからないと
きは、「わからない」
とすぐに返事できな
い、ということがあ
ります。なぜでしょ
う。

「持ってる？」と
たずねられて、持つ
てるときは「持って
る」と答えられる。
でも、持っていないと
きは、「持っていない」
とすぐに返事できな
い、ということもありま
す。なぜでしょう。
「わかってない？」「持
っていない？」と最初にき
かれると、「わからない」
「持っていない」あるいは
「わかった／持ってる」
と返事がしやすくなるか
もしれません。同じこと
のように思えますが、何
が違うのでしょうか。

自分中心か相手の立場
になるか、この違いです。
〈わかった〉〈わからない〉
の区別はかんたんで
はありません。その中間、
あいまいもあります。わ
かっている世界よりも
知らない世界のほうが広
い。わかっていことは
ほんの少しで、わからな
いこと、あるいは、気づ
いていないことは、まだ
まだあるのです。
〈じゃんけん〉のルール
は、遊びながらいつのま
にかおぼえたのです。
知っている世界よりも
知らない世界のほうが広
い。わかっていことは
ほんの少しで、わからな
いこと、あるいは、気づ
いていないことは、まだ
まだあるのです。
なんだか、わからない
話で、ごめんなさい。

こんにちは。

あなたは、いま「な
んさい」ですか？

自分のトシを二倍
すると、二十歳（は
たち）より大きいで
すか？ 年齢を二倍
する、というのはち
よつと変ですね。

では、自分のトシ
を引いたら……？

もしかして生まれて
いないのかな？

年齢を足したり引
いたり倍にしたり、
計算はできないのか
もしれません。

でも、あなたのご

両親は十年先のことを、

もしかしたら考えられる
かもしれません。

ふざけてないで、まじ
めに考えると、幼児は「い
ま」しか考えません。き
のうもあすもありません。
「今夜」もなく「いま」
しかないのです。

でも、あなたの場合、「今
夜」はあるでしょう。「あ
す」もあるでしょう。「来
週」もあるし「来年」も
あるでしょう。

ワープ（しゅんかん移
動）できるとしたら、ど
こに行きたいですか？

これから来る先を考え

るということは「計画」

が立てられるということ
です。「いま」しかない幼
児ではありませんから、

「計画」を立てることが
できます。「計画」とい
うのは、もうあたりまえに
なっているでしょうが、
じつはこんな意味があつ
たのです。計画や目標を

もつということは、おと
なになるための準備です。
そして、さて、あなたは
いつまでの計画が立てら
れますか？ が、きょう

のテーマになります。こ
れで変な話ではないと思
います。

こんにちは。

漢字は三千年の昔に中国で作られました。そんな昔から作られた漢字は何種類あると思いますか？

日本の一番大きな漢和辞典は五万字以上がのっています。小学校で覚える漢字は一千字ちょっとです。中学に進むと習う漢字はさらにふえて、新たに千字程度を学びます。それでも五万字は多いですよ。中国大陸の人は漢字が多すぎて覚

えられないので略してしまいました。「広い」の「広」は「广」だけでよいことにしました。漢字の語源もわからなくなつて、日本人の学者（白川静）が活躍しています。

小学校では、中学校でもなのですが、学校で学ぶことは必要なことと思つていきます。しかし、漢字はもともと五万もあるように、学ばないこと、学べないことのほうが、じつはたくさんあるのです。六年生くらいになると、「あれって？」「これ

は？」と疑問に思うことがふえてきているはずですよ。というか、これからは、疑問のほうかふえてきます。

調べ学習をしていて、わからないことに出会うとうれしいけれど、すでに知っていることばかりだと楽しくありません。

五万の漢字がのっているのは、『大漢和辞典』です。諸橋轍次（もろはしつづじ）が作り、全15巻。図書館には必ずあります。興味があったら、図書館でさわってみてください。

こんにちは。
来年の今ごろは？

というようなことを、おそらくまだ考えないでしょうね。

にもかかわらず、

もっと先、大学進学のこととか、さらには、どんな仕事をしたいとか……、は考えたりしますよね。

きょうのつぎは「あした」。あしたのつぎは「……」。

計画を立てましょう。日記を書いていくかどうかはわからないけれど、日記と

か計画は、やっぱり大切です。

つまらないことでも、あとで読み返すと、つまらないではなく大発見になることさえあります。

日記で大事なことは、日づけと曜日です。あとは、

一行だけの短いものでも、

何を食べたでも、なんでもよい。日記で次に大切

なことは、できるだけ休

まず続けることです。こ

うして日記はすぎていく

日の記録です。実際に起

きたことです。

計画は、自分の未来で

す。あすも未来、来年の

今ごろも、は、たちになるのも未来です。

日記帳のように計画帳を作りましょう。わたしの場合、日記帳は続いたり続かなかつたりで、「計画帳」は作りませんでした。でも、計画は趣味（しゅみ）なくらい立てました。50年先を考えなさいと人に言われて、それは無理と思いつつも立ててみました。フシギと立てられるものですね。

「計画」は日記と同じだけのねうちがあり、日記は反省になり、計画は自信になります。

こんにちは。

苦手ってあります

か？ 何の？ 勉強

とかなんでも。得意

ってありますか。

では、苦手を得意

に変えるには……。

そんな方法、簡単に

はないですね。苦手

を苦手じゃなくす方

法。それはあります。

何が苦手か、よく考

え見分けて、それを

もうやらないので

す。得意なこと、好

きなことだけにする

のです。それはズル

いって？

好きなこと、やりたい

ことをよく見きわめてい

つしようけんめいになる

ことです。夢中になるこ

とが大事なのです。夢中

になることって、ありま

すよね。すると、次にや

りたい、やってみようか

など思うことがでてきま

す。好きなことばかりし

ていると、つまるところ、

あきてしまう。

苦手意識や、興味がな

いと思っていたことをや

つみようかなと、ふっと

思うようになるのです。

なります。これが苦手じ

やなくす方法です。

このように苦手はいつ

かそうでもなくなるので

すけれど、やっぱりなの

は記憶です。諳記とは違

うのかもしれないけれど、

似てもあります。食べもの

の好ききらいに似ていま

す。つまり、苦手のまま

で得意や好きには、なか

なかなれない。違う方法

がいるのでしよう。わた

しも、どうしたらよいか

わかりません。じつは、

わたしは記憶が苦手です。

だから、いっしょうけん

めい諳記しようとはしま

せん。代わりに「考える」

ようにします。

こんにちは。

「次善の策」は「じ
 ぜんのさく」と読み
 ます。試験に出るこ
 とが多いので、覚え
 ておくとういと思ひ
 ます。「事前の策」
 はまちがいです。

次に良(善)、い策
 ということですか
 ら、二番目に良いと
 いうふうに思えるけ
 れど、そうではあり
 ません。一番に良い
 策は、「最善の策」
 です。最も良いとい
 うことですね。だっ
 たら、二番目でしょ

う、と、やっぱりそう思
 いますよね。

何かの事情で最善を選
 べないとき、では、次の
 最善の策、ということで
 す。

人のカシコサというの
 は、こういうときに現れ
 るのです。最善しか考え
 ていない人は、それがで
 きないときにはガツカリ
 します。しかし、気を取
 りなおして、次善の策が
 とれるところがカッコイ
 イわけです。

おとなになるというこ
 とは、「次善の策」の一番
 がたくさんあります。や

ってみて、「次善の策」の
 良さが発見されて、最善
 もいいが、次善もいいと
 いうことになったりしま
 す。時と場合には、次善
 のほうが最善よりも適し
 ていることがあります。

計画するとき、もしそ
 の計画でつまずきそうに
 なったとき、次の手が打
 てるということが大切で
 す。自分一人で行うので
 なく、友達や他人と一緒に
 になって行うこともよく
 あるでしょう。自分に最
 善であっても、他の人に
 とっては何が最善なのか、
 そのことも考えよう。

こんにちは。

いっぴき、にひき、

さんびき。「ぴき、

ひき、びき」 外国

人が日本語を習うと

きは、この変化がと

てもむずかしいのだ

そうです。

いっひき、にひき、

さんひき……でもな

ければ、いっぴき、

にびき、さんびき…

…いっぴき、にびき、

さんびき、でもあり

ません。

でも、このごろ、

「さんひき」を耳に

すること、あるなあ。

「いちひき」もあるかも？

「っ」の後は「ぴき」。

そして、「ん」の後は「びき」。こういうのを音便(お

んびん)と言います。

ところが、《さんびき、

よんひき》のとき、「よん

びき」とは言いません。

なぜでしょう？ わたし

は説明できません。外国

人は、もう諳記するしか

ないのでしょうか。

わたしたち日本人は、

日本語のひとつひとつは

生まれてから覚えること

になります。ひき・び

き・ぴきのようなり、ズム

は身につけて生まれてく

るようです。日本人は「お

ぎゃーおぎゃー」と泣き

ますが、ドイツ人のあか

ちゃんは「ドイツ語で「お

ぎゃーおぎゃー」と泣く

そうです。これがリズム、

です。※「泣く」は「聞

こえる」ということです。

おしゃべりに、気をつ

かうことはないでしょう。

でも、ときには、考えて

もよいのかもしれない。

日本語を美しくつかえる

すてきなおとなになるた

めに。

こんにちは。もうすぐ「おおみそか」。毎月30日をむかしは「みそか」と言いました。10日を「とおか」、20日を「はつか」と言うように。むかしは月の満ち欠けをこよみの代わりに行っていました。新月から次の新月までは29.5日なのですが、「29.5日」という日はないので、むかしのこよみは29日で終わる月と30日で終わる月がありました。

明治時代になって

からは、月ではなく地球が太陽を一周する1年を12回に分けて「月」にしました。すると29の月はなくなくなって30と31の月になりました。31の月は7回ありますが、一年の終わりに12月31日を「おおみそか」と言い、30日は毎月12回ありますが、「みそか」とは言わなくなりました。

1日を「ついたち」と言いますね。「はじまり」という意味。月の満ち欠けの始まりということですね。



節分（せつぶん）は、いつでしょう？ 日は決まっています。毎年変わります。来年は2月3日です。立春・立夏・立秋・立冬の前日が節分です。

「立★」は東京天文台が天体観測をして定めています。春・夏・秋・冬の境が節分なのです。鬼は外」の2月節分だけが残り、ほかの節分は忘れられています。2月の節分は季節の境というよりも、おそらくは一年の境という意味に変わってしまったのでしょうか。

こんにちは。

新年を迎えると、

なにか新しいことをしたい、希望があるような気分になります。そして、実際にそういうことに取り組むでしょう。

その新しい取り組みに挑戦するとき、まちがっていたら困りますね。若いときは、「やってみたい」気持ちが強いですから、まちがっていたら……と迷うようなことはまだ少ないと

思います。



ここに固くて開けられないビンのフタがありません。右に回せばよいのか？ それとも左に回せばよいのか？ フタが固すぎる、と迷うことがしばしばあります。じつは、**迷うこと**となく、力をこめて左に回せばよいのです。輪ゴムをフタにかけて回すと容易にあげられます。迷っているとは思いつてもきません。（例外はあります。でも、それはごく少（す）しです）

ビンのフタを例にしました。若いときに身につける知識や技術は、一つでも多くの「**迷うこと**のない」自信です。信念と言ってもよいでしょう。一つでも多くのと言いましたが、一つや二つだけでもよいのです。大切なことは、知識や技術というものは、たくさん覚えて満点をめざすのではなく、自分を奮い立たせるような**迷うことのない**ものであるなら一つでもよいのです。「生きる」とは、そういうことです。

こんにちは。

聞く・話す・読む

・書く、というのはい前にお話ししました。この順番は変わらず「聞く」ことはすべての土台になるということでした。

だけれど「話す」。

その話すことを聞くわけです。みんながしんけんに聞いてくれると話さうも力がかもります。

ところで、さて、

なんでも「話せる」ものでしょうか？

話したくないこと、話せないことがあります。

聞きまじょうな人がいても、話せない。言いたくない。あとでなら話せるかもしれないけれど、いまは話したくない。

小説家・芥川龍之介(あ)くたがわ・りゅうのすけ)

の作品に「手巾(はんけち・はんかち)があります。顔の表情はほほえんでいるようなのですが、手に持つハンカチがふるえている。ハンカチを持っていてる人の心は、顔の表情ではなく、ハンカチ

が表している、という話です。

期待していること、予想できること、うれしいこと―は、聞いて受け止めやすいでしょう。期待していなかつたこと、思ひも寄らないこと、悲しいこと―は、受け止めにくいかもしれせん。つまり、聞いているようであつてしまふかもしれせん。「きく」は、ときに、むずかしいことでもあるのです。



こんにちは。

あかちゃんが歩き始めたとき、ふらふらしてかわいい。おっと、こけた。そのとき手が出ます。「あぶない」と思って手を出すのでしょうか？

失礼ながら、お年寄りがこけそうになったとき、タイミン
グ良く手が出るでしょうか？
あかちゃんは「あぶない」という言葉をまだ覚えていませ

ん。でも手が出るのです。

これってフシギと思いませんか。
あなたが道を歩いていてつまずいたら、おそらく「あぶなー！」と声をあげるでしょう。一瞬のことでも言葉が出ます。そして状況を判断をしようとしています。

あかちゃんは、やがて言葉を覚えます。五歳の子どもはこわいときは、「こわー」とか「あぶなー」と言います。口に出さなくても心に思うこと

もあるでしょう。

あなたは、すっかり言葉を自由に話せます。言葉は話し相手に使うし、自分にも使います。さて、ここからが、とても大切なことです。

言葉が使える人は、考
えるとき、必ず自分に向
かって言葉を使います。
そのとき、知っている言
葉だけを使います。知らない言葉は使えません。考えを深くするには、言葉を学んで身につけることを心がけておこなうはなりません。

こんにちは。

作文は好きです
か？ 得意な人も苦
手な人いるでしょ
う。自由テーマであ
っても、課題があつ
ても、何を書こうか
など考えて（あれ、**♥**
にしよう）と思いつ
いたらホツとしま
す。さて、いよいよ
書きます。せつか
く思いついたのだ
から、その思った
こと、**♥**を書きた
い！

それでいいので

す。**♥**を書いたら、その

説明を書くことになりま
す。書き進んだら、もう
ちよつとや！と思います。

わたしも、だいたいは

こういう書き方をします。

作文（文章）は、書くの

は「わたし」ですが、読

むのは作文を見た人です。

本で物語を読んでいる

と、だんだんとおもしろ

くなつて、これからどう

なるのかなと興味がわい

てきます。「あれ、**♥**」が先

に出てくることは、あま

りありません。

「あれ、**♥**」から書き始

めた作文に手を加えます。

「あれ、**♥**」を後ろにまわ

せないかを考えます。「説

明」を先にもつてくるの

です。「あれ、**♥**」よりも「説

明」を前にもつてきたの

で、文章の書き方を変え

る必要があります。

文章の書き方でしたが、

実際はむずかしい。でも、

このことを覚えておいて

ください。いつかきつと

役に立ちます。

書くのは自分ですが、

読む人がいるということ

を忘れないようにという

ことです。

こんにちは。

テンやマル、つまり句読点のうちかたについて学校ではどういうふうに習ってきたのだろうか？

わたしの小学生時代では音読するとき、テンやマルで息を吸うとか止めるとかだったかなあ？
でも、こういう説明はまちがっている。とわたしは思う。

意味のつながりを考えながらテンを使

います。

そのためには、意味をつなげるのか、意味を変えるのか、あるいは読みやすくするために「わかちがき」にするのか、が、ポイントになります。

「意味」は書く人の気持ちです。「わかちがき」は読んでくれる人へのサービスです。あるいは、自分の気持ちを相手に伝えやすくする工夫です。

もしかしてテンやマルはテキストに使ってききましたか？ そんなことは

あまり考えませんでしたか？

テンやマルをまったく使わない——ということはありませんよね。一年生の作文にはテンやマルがまったくなくともあります。読むほうは大変です。何が書かれているのか、読むほうは懸命に考えることになります。テンをうつつということは、自分の気持ちにテンをうつつということでもありません。テンを打つか打たないか？ そういう迷いがあなたの成長です。

こんにちは。
句読点マルの話。

マルは文の終わりにつきますね。作文に熱心になっていると、「それで……」と次へ次へと続けようとしています。

そのテン、マルになりませんか？

続けようとするのでなく、文は短くしましょう。もちろんうまくなれば、いくらでも長く書けるでしょう。

わたしは、今でも

短く書くことをこころがけています。

○

三月、四月は進級進学の季節です。マルで区切る季節です。今まではそれほど気にすることはなかったと思いますが、これからはマルで区切ったほうがよいことが、あるいは「マルをつけようか」と思う節目に出会うことになるでしょう。

思い通りになったとき、目標に達したとき、マルはつけやすい。しかし、失敗したり、くやしいと

きはマルをつけたくないか、つけられないものです。

そのテン、マルになりませんか？

作文も同じです。実際に何かをしているときでなく、書いただけだからテキストにというわけにはいかないのです。テンやマルにも真剣に向き合うことが大切です。

本を読んでいて、読みやすいとき、わかりやすいときは、考えさせられるときは、テンやマルに心がこもっているからです。

連載（れんさい）を終えて

「ラブレターを書く」のタイトルは、ラブレターそのものをねらっていた。連載を始めた当初の読み手は小学4年生。異性間の手紙のことですが、それがわかるとは思っていません。わたしは2つの意味をこめていました。

72回の連載を続けてい
るうちに、せまい意味で
のラブレターから はな
れはじめ、リテラシー（読
み書きの力）にかたよっ
ていきました。なんとか
もとにもどそうと思っ
たのですが、最後までと
うリテラシーのまま
終わってしまいました。
最後の方は、もう6年生
になつていたので少々む
ずかしくても、言ってお
きたいことは言っておこ
うと思うようになってし
まいました。



←全72回



紙でつかう文字の力は
電子テキストにおされて
今後10年、20年、30年、
…、力が弱くなる一方
かもしれない。そうい
う危惧（きぐ）をもちなが
らも、オオカミのように
ほえるしかない。

以上、「ラブレターを書
く」のいいわけでした。

おわり

2024
・ 4 ・ 10

山田 利行

すぐに実践できる文章作法 ◇5つの原則

- 1) 飾る言葉・飾られる言葉を、近づける。
読む人にやさしい。
- 2) その「、」（テン）、「。」（マル）にならないか？
一つの文は、なるべく短くする。
- 3) 「の」の繰り返しを続けない。
「の」を続けると言葉のつながりがわかりにくくなる。
「の」を続けるしかないと思ったら「、」にしてみる。
どうしても「の」が続いてしまうとき
　　違う助詞に変えられないか？
　　表現を変えられないか？
　　順番を入れ換える。
　　一部または全部を削除する！
　　「、」を挿入して区切りとし、
　　　　　　　　　句読点間の「の」を1つにする。
文と文をつなぐ接続詞を安易につかわず、
　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　接続詞は効果的につかう。
上の 2) も検討する。
- 4) 「こんにちは」から始める。
書き始めることが大切。
どう書こうかと思案する前に「こんにちは」を書く。
- 5) 届ける相手を思い浮かべる。
特定の誰かでよい。
それが、不特定の「こころ」をつかむ。

迷ったら、その文（語）を削除してみる。

こだわりを捨てる。削るほど、よくなる。

「言いたいこと」があって書くことになるのですが、それが文章を書くしぼりになります。文章を書くということは、書きながら自己を対照化することでもあります。ときには、「言いたいこと」へのこだわりから離れると、何かを発見するかもしれません。

不特定相手には書けない。

不特定多数ではなく、不特定少数または特定多数をイメージしよう。あるいは、一人に向かって書く。

葉書1枚の、それもやや大きめの字が適当かもしれない。メールで誰かに送りつけるのがよいかもしれない。どうやって思いを伝えるか。その積み重ねが大切と思う。
前ページの5)の補足。

字はへたくそだ。文のくみたてもへただ。なにもかもへたづくめだ。けれどもだ、心がうつくしいのだ。夜空にきらめく星のようにうつくしいのだ。だからこそ、何十万人のなかからえらんでもらったのだ。

坂本遼『きょうも生きて（第一部）』
偕成社文庫版 1977年 p315